

<参考資料>

◆国際化学オリンピック(IChO=International Chemistry Olympiad)とは？

1968年に東欧3カ国(ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド)が始めた高校生の化学の学力試験から発展した、毎年7月に約10日間開催される「化学」の国際大会です。各国、代表生徒を最大4名まで参加させることができ、近年では約80の国と地域から、総勢300名近い生徒が参加しています。生徒たちは、個人単位でそれぞれ5時間に及ぶ実験問題(Experimental Examination)と筆記問題(Theoretical Examination)に挑戦し、成績優秀者には金メダル(参加者の1割)、銀メダル(同2割)、銅メダル(同3割)が贈られます。また、大会期間中には、試験だけでなくエクスカーションと呼ばれるプログラムが用意されており、その内容はスポーツやゲームから開催国独自の文化を体験するものまで多岐にわたっています。参加生徒たちはこれらのエクスカーションを通じて他国の生徒との交流を深めていきます。日本は2003年のアテネ大会より参加しており、今年で16回目の参加となります。2017年はタイのナコンパトムで開催され、日本代表生徒は金メダル1個、銀メダル3個という成績を収めました。(国際化学オリンピックの詳細については<http://icho.csj.jp/>をご参照ください。)

◆日本代表生徒のこれまでの成績

開催年	回数	開催国／開催都市	金	銀	銅
2003年	第35回	ギリシャ／アテネ	-	-	2
2004年	第36回	ドイツ／キール	1	-	3
2005年	第37回	台湾／台北	-	1	3
2006年	第38回	韓国／慶山	1	3	-
2007年	第39回	ロシア／モスクワ	-	-	4
2008年	第40回	ハンガリー／ブダペスト	-	-	4
2009年	第41回	イギリス／ケンブリッジ	2	1	1
2010年	第42回	日本／東京	2	2	-
2011年	第43回	トルコ／アンカラ	1	3	-
2012年	第44回	アメリカ／ワシントンD.C.	2	2	-
2013年	第45回	ロシア／モスクワ	-	4	-
2014年	第46回	ベトナム／ハノイ	1	2	1
2015年	第47回	アゼルバイジャン／バクー	2	2	-
2016年	第48回	ジョージア／トビリシ	1	3	-
2017年	第49回	タイ／ナコンパトム	1	3	-